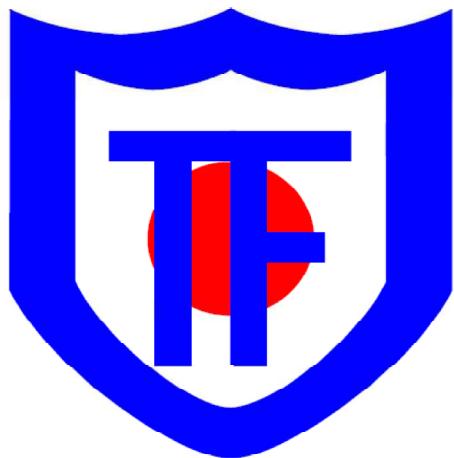


TEC-FORCE

令和6年能登半島地震における
穴水町道路被災状況調査
報告書（速報）



Technical
Emergency
Control—
FORCE

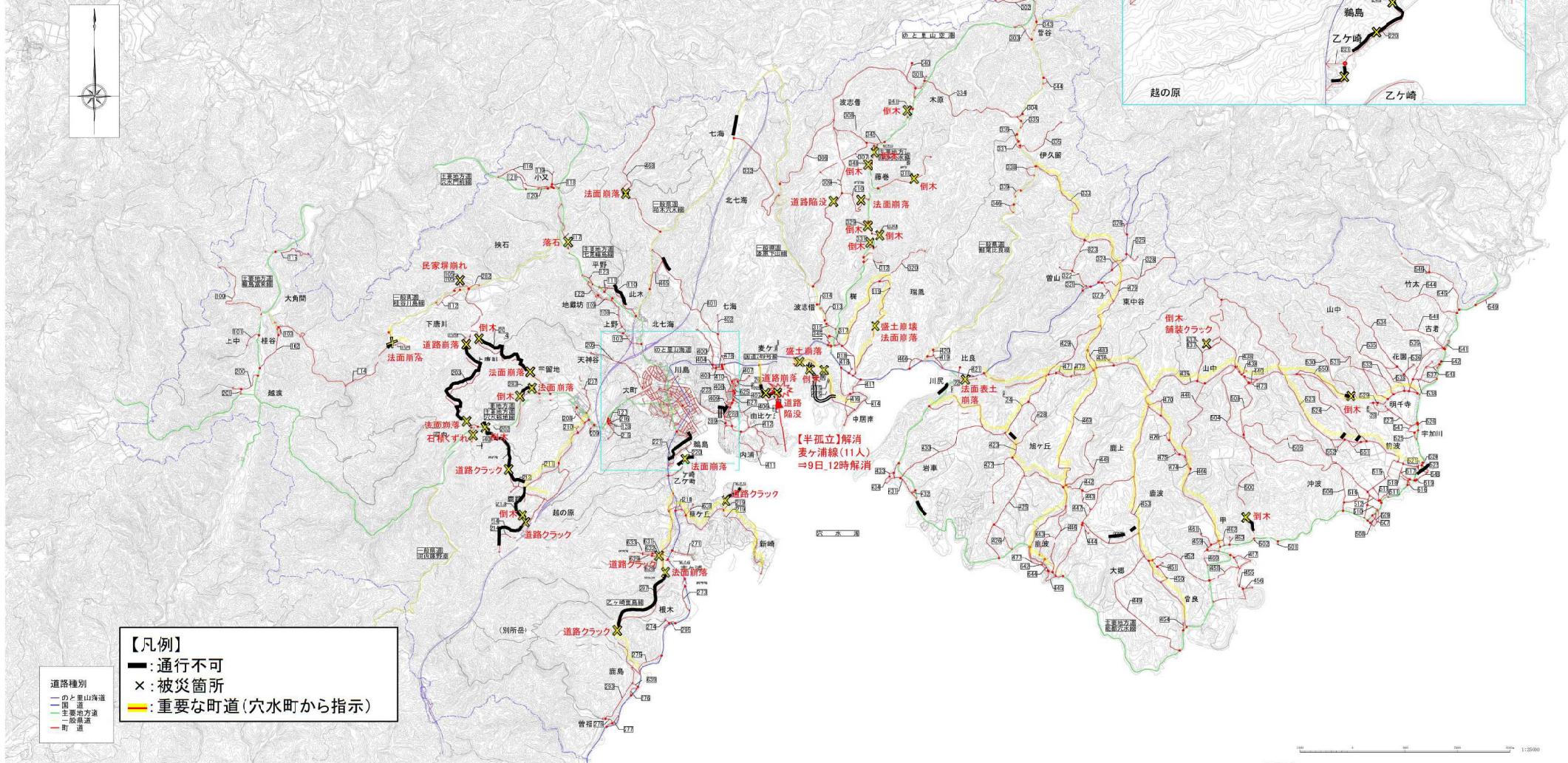
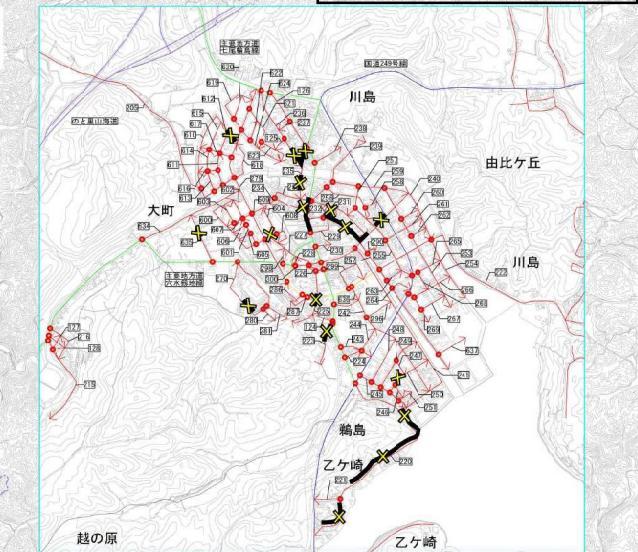
TEC-FORCE : 緊急災害対策派遣隊

令和6年1月11日

国土交通省 東北地方整備局

進捗：調査済み／全路線
220路線／351路線

穴水町道路圖



283_与保志良線
法面崩落
1月8日撮影



町道302号 樟谷線

家屋倒壊による通行不可
1月8日撮影



乙ヶ崎鹿島線
路線番号297
道路崩落
1月8日撮影



被災状況

被災状況調査班1班4名は乙ヶ崎鹿島線(路線番号297)にて
道路崩落を確認、応急封鎖作業を実施しました。
早期に正式な封鎖をされることを推奨します。

乙ヶ崎鹿島線
路線番号297

封鎖作業前



乙ヶ崎鹿島線
路線番号297



封鎖作業後

町道405号 由比ヶ丘線

法面崩落、舗装陥没
1月9日撮影



415 下出・中居南線

盛土崩落

盛土崩落

1月8日撮影



415 下出・中居南線
盛土崩落
1月8日撮影



317 梶線
パイルベント基礎破断

1月9日撮影



路線: 沖波・東山線(路線番号504)

道路クラック
1月9日撮影



路線：東部中央線（路線番号435）

道路クラック
1月8日撮影



453曾良・小又線 路面の亀裂・沈下①
1月9日撮影



453曾良・小又線 路面の亀裂・亀裂④

1月9日撮影



課題	能登半島地震により下流側側道橋のP1橋脚が著しく損傷(豊壁に鉛直方向のひび割れ 他) R6.1.8 現地調査					
橋梁名	白山橋 (しらやまばし)	路線名	町道 白山線	管轄	穴水町	地域整備課
所在地	石川県鳳珠郡穴水町川島	距離標	橋長 (幅員)	40.00 m	(12.00 m)	
上部工形式	PC単純プレテンT桁橋・2連(不等径間)	下部工	逆T式橋台 2基、壁式橋脚(RC) 1基			
架設年次	1981年 (昭和 56年、経過年数 41年)	技術基準	昭和 53年?	交通量	年	台 /24h
橋梁点検	直近 R 3 年 【健全度】 II 判定	前回	H 年			
II 判定	床版下面及び横桁の剥離・鉄筋露出、下部構造のひび割れ、伸縮装置の破断及びコンクリートひび割れ					



【表-1】地覆の離隔距離

測定箇所	本線橋と側道橋の離隔(cm)	
	上流側	下流側
A2橋台	5	10
P1橋脚	10	36
A1橋台	5	10



【写真⑤】P1橋脚部の変状(上流側:地覆、上・下流側:豊壁ひび割れ)



【写真⑦】P1橋脚 A2側正面(下流側_d部拡大)

第1径間の桁端と段差部が衝突?



【写真⑧】P1橋脚 A2側正面
豊壁ひび割れ(下流側_b部)



【写真⑨】P1橋脚 A2側正面
豊壁ひび割れ(上流側_c部)



技術的助言の内容

- 当該橋梁は、斜角を有するPC単純ポストテンションT桁橋・2連(不等径間)の橋梁である。
- R6.1.1_能登半島地震により、P1橋脚の上・下流部豊壁に鉛直方向のひび割れが発生している。特に下流側の豊壁(b部)はひび割れ幅の開口が大きく、フーチングまでに達している可能性があり、耐荷力が不十分な状態にあると思われることから、詳細調査を行うまでは歩道(下流側)を通行止めするのがよい。
- また、上流側の豊壁(c部)にも鉛直方向ひび割れが生じており、現時点では直ちに不安定ということはないものの、今後さらなる地震等で不安定になる恐れもあるので、監視を行い、規模の大きな余震などの際に異常があればすぐに止められるような体制をとっておくのがよい。
- 当該橋梁は本線部(車道)と両側の側道橋が分離構造(目地接合)となっており、地震動により中間支点(P1橋脚)において、主桁端部や地覆側面が衝突した可能性がある(未確認)。その影響により、隣接する地覆の離隔や通りに変状が生じている。
- 特に、P1橋脚 下流側側道橋の橋面段差部では、本線部の外折が段差部と衝突した可能性があり、せん断破壊により豊壁に鉛直方向のひび割れが生じたものと思われる。
- ⇒ 損傷が著しい中間支点部(P1橋脚上の桁端、支承)の状況を早急に確認する必要があり、それまでは、本線部(車道)を片側交互通行しながら状態監視をする必要がある。
- また、詳細調査時には軸鉄筋方向の抜け出しの有無等についても確認が必要である。